

風のガーデンでできること 花々が咲く中での風

ガーデンデザイナー、上野 砂由紀は 2008 年のテレビドラマ『風のガーデン』の主な舞台となるこのガーデンを手がけました。『風のガーデン』では、花とそのロケ地が呼び物になっています。これには約 450 品種の花の香りが含まれています。

週末に来た訪問客は、押し花ワークショップで、思い出をつくることもできます。それはおよそ 1 時間で出来上がります。

風のガーデンは、巨大なプリンスグランドリゾート富良野の一部であるため、近くには多くのアクティビティがあります。例えば、熱気球に乗って田園地方を見渡してみたり、富良野ロープウェーに乗って上がり、風のガーデンとリゾート全体の景色を見下ろしたりできます。

地上にとどまっておきたい来園者には、セグウェイガーデンツアーがあり、緑の丘を探索できます。小学生以上の子ども連れの家族向けには、19 のオプションがある「ツリー・トレッキング」もあります。日本のパークゴルフの一種である「グラウンドゴルフ」は、近くにある 36 ホールでプレーできます。

ニングルテラスのショッピングエリアでは、小さく個性的な小屋で北海道のあちこちから集められた手工芸品が売られています。ここには「ニングル」が住んでいると伝えられています。ニングルというのは、小さなエルフのことで、夜になると、特に庭で仕事をするため現れます。